

記入例 6 (第 3 号 水産食料品製造業)

構造等の変更をする特定施設の変更前と変更後を別紙に記入して下さい。

様式第八 (第十条関係)

特定施設の構造等変更届出書

年 月 日

提出日を記入して下さい。

函館市公営企業管理者企業局長 様

住所 { 法人にあつては、
主たる事務所の
所在地 } 函館市〇〇町〇〇番〇〇号

申請者 氏名 { 法人にあつては、
名称および代表
者の氏名 } 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

下水道法第 1 2 条の 4 の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇〇	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	函館市〇〇町 〇〇番〇〇号	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	(例) 第 3 号 ロ 洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造(特定施設の使用の方法, 汚水の処理の方法, 下水の量及び水質, 用水及び排水の系統)	別紙のとおり。 特定施設の号番号および施設名を記入して下さい。	※審査結果	
		※備考	

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙 1

特定施設の号番号および施設名を記入してください。

特定施設の名称。

特定施設の構造

特定施設	No. 1 (変更前)	No. 1 (変更後)
1 号 番 号	(例) 第3号 □ 洗浄施設	(例) 第3号 □ 洗浄施設
2 名 称	(例) ○○洗浄機	(例) ○○および××洗浄機
3 メーカー ・ 型 式	(例) △△株式会社 ○○○○ ○○-123□□	(例) ××株式会社 ×××× □□-123○○
4 台 数	○台	○台
5 材 質	○○○製	○○○製
6 主要寸法 (m)	長さ×幅×高さ。単位はm。	
	L ○○× W ○○ × H ○○	L △△× W △△ × H △△
7 能 力 (kg/日)	特定施設の能力を記入。 一日当たりの処理量、使用水量等。	
8 設 置 図	別紙のとおり	別紙のとおり
9 工 事 着 手 予定年月日	年 月 日	年 月 日
10 工 事 完 成 予定年月日	年 月 日	年 月 日
11 使 用 開 始 予定年月日	年 月 日	年 月 日
12 備 考		

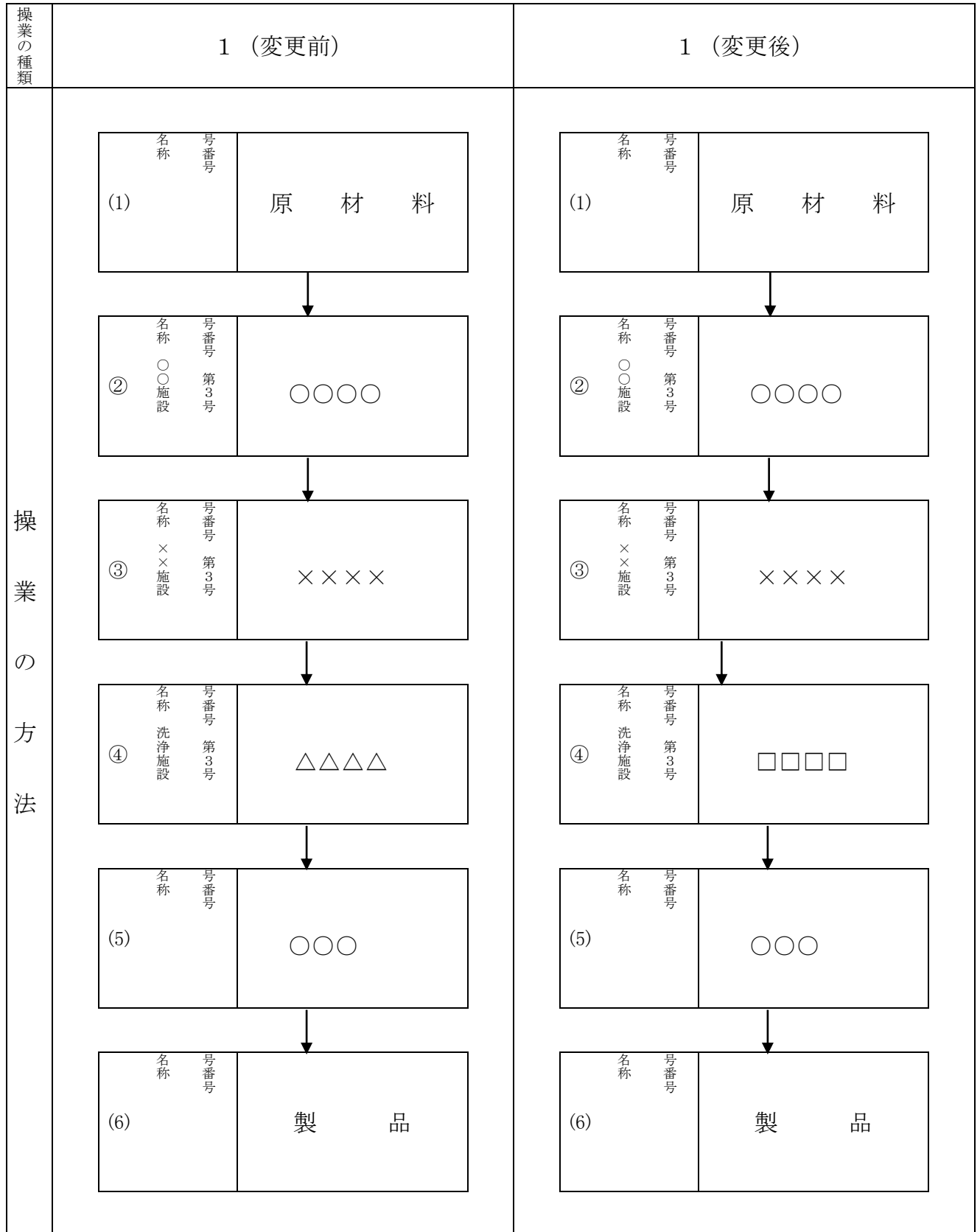
別紙 2

別紙 1 「1 号番号」と同じ番号が入ります。

特定施設の使用の方法

特定施設	N o . 1 (変 更 前)		N o . 1 (変 更 後)													
1 号 番 号	(例) 第3号 □ 洗浄施設		(例) 第3号 □ 洗浄施設													
2 名 称	(例) ○○洗浄機		(例) ○○および××洗浄機													
3 使用 方法	(例) ○○の洗浄		(例) ○○および××の洗浄													
4 操 業 工 程 図	別紙 2 の 1 の と お り		別紙 2 の 1 の と お り													
5 1 日 当 た り の 使 用 時 間	○○時間 (○○時○○分～○○時○○分)		△△時間 (○○時○○分～△△時△△分)													
6 1 日 当 た り の 原 材 料 等 の 使 用 量	別紙 2 の 2 の と お り		別紙 2 の 2 の と お り													
7 汚 水 の 水 量 (m ³ / 日)	通 常		最 大													
	(例) 5.0		(例) 6.0													
8 汚 水 の 水 質 (m g / L)	BOD		S S		pH		油 分		BOD		S S		pH		油 分	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48
9 備 考	使用する栓数, 特定施設の使用水量または污水处理施設の処理水量等から算出し記入して下さい。 最大は通常の 1.2 倍の数値を記入して下さい。															

操 業 工 程 図



備 考 操業の方法欄の番号のうち、特定施設を使用する工程の番号を○で囲み、その特定施設の名称および号番号を記入すること。

別紙 2 の 2

代表的な原材料と概算の使用量を記入してください。

1 日当たりの原材料等（消耗資材を含む。）の使用量

(変更なし)

原材料等の種類		使用量(kg/日)	用途	備考
1	○○	○○kg/日	○○用	
2	○○○○	○○kg/日	○○製造	
3	△△△	○○kg/日	△△用	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

別紙 3

汚水の処理の方法

(変更前)

1	処理方式	浮上分離方式								
2	能力 (m^3 / 日)	75 (L/分) = 108 (m^3 /日)				<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> (例) グリーストラップ 実容量 100 L の場合 許容流入流量 $100L \times 0.75 = 75$ L/分 処理能力 75 L/分 = 108 m^3 / 日 ($75L/分 \times 60 \times 24 \times 0.001 = 108m^3 / 日$) </div>				
3	構造	別紙図面のとおり								
4	汚水の処理 の系統図	別紙図面のとおり								
5	1日当たりの 薬品類の使用量 (凝集剤, 中和剤 等)									
6	汚水の 水質 (mg/L)	項目	B O D		S S		p H		油分	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		処理前	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48
	処理後	200	240	200	240	7.0	8.0	20	24	
7	処理水の水量 (m^3 / 日)	通常	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 別紙2 「7 汚水の水量」と同じ数値になります。 </div> (例) 5.0				最大	(例) 6.0		
8	発生汚泥等 の処理方法	汚泥等の量 (m^3 / 月)	○. ○○○ m^3 / 月							
	処理の方法	委託処理								
9	設置図	別紙図面のとおり								
10	工事着手 予定年月日	年 月 日								
11	工事完成 予定年月日	年 月 日								
12	使用開始 予定年月日	年 月 日								
13	備考									

別紙 3

汚水の処理の方法

(変更後)

1	処理方式	浮上分離方式								
2	能力 (m^3 / 日)	75 (L/分) = 108 (m^3 /日)				<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> (例) グリーストラップ 実容量 100Lの場合 許容流入流量 $100L \times 0.75 = 75$ L/分 処理能力 75 L/分 = 108 m^3 /日 ($75L/分 \times 60 \times 24 \times 0.001 = 108m^3 /日$) </div>				
3	構造	別紙図面のとおり								
4	汚水の処理 の系統図	別紙図面のとおり								
5	1日当たりの 薬品類の使用量 (凝集剤, 中和剤 等)									
6	汚水の 水質 (mg/L)	項目	B O D		S S		p H		油分	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		処理前	300	360	300	360	7.0	8.0	40	48
	処理後	200	240	200	240	7.0	8.0	20	24	
7	処理水の水量 (m^3 / 日)	通常	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 別紙2 「7 汚水の水量」と同じ数値になります。 </div> (例) 7.0				最大	(例) 8.4		
8	発生汚泥等 の処理方法	汚泥等の量 (m^3 / 月)	○. ○○○ m^3 / 月							
	処理の方法	委託処理								
9	設置図	別紙図面のとおり								
10	工事着手 予定年月日	年		月		日				
11	工事完成 予定年月日	年		月		日				
12	使用開始 予定年月日	年		月		日				
13	備考									

公共ますにおける事業場排水（油水分離槽排水）と生活排水（トイレ、手洗い等）を合計した下水の量となります。

(例) 事業場排水 5.0m³ + 生活排水 1.0m³ = 6.0m³

通常の1.2倍の数値となります。
通常 6.0m³ × 1.2 = 7.2m³

公共ます2箇所に汚水を排除する場合記入して下さい。

別紙 4

下水の量及び水質

(変更前)

排出口		No. 1		No.	
		通常	最大	通常	最大
下水の量 (m ³ /日)		(例) 6.0	(例) 7.2		
1	温度	度	度	度	度
2	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				
3	水素イオン濃度 (pH)	水素指数 7.0	水素指数 8.0	水素指数	水素指数
4	生物化学的酸素要求量(BOD)	200	240		
5	浮遊物質 (SS)	200	240		
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	20	24		
	(1) 鉱油類含有量 (2) 動植物油脂類含有量				
7	窒素含有量				
8	燐含有量				
9	沃素消費量				
10	カドミウム及びその化合物				
11	シアン化合物				
12	有機燐化合物				
13	鉛及びその化合物				
14	六価クロム化合物				
15	砒素及びその化合物				
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
17	アルキル水銀化合物				
18	ポリ塩化ビフェニル				
19	トリクロロエチレン				
20	テトラクロロエチレン				
21	ジクロロメタン				
22	四塩化炭素				
23	1, 2-ジクロロエタン				
24	1, 1-ジクロロエチレン				
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン				
26	1, 1, 1-トリクロロエタン				
27	1, 1, 2-トリクロロエタン				
28	1, 3-ジクロロプロペン				
29	チウラム				
30	シマジン				
31	チオベンカルブ				
32	ベンゼン				
33	セレン及びその化合物				
34	ほう素及びその化合物				
35	ふっ素及びその化合物				
36	1, 4-ジオキサン				
37	フェノール類				
38	銅及びその化合物				
39	亜鉛及びその化合物				
40	鉄及びその化合物(溶解性)				
41	マンガン及びその化合物(溶解性)				
42	クロム及びその化合物				
43	ダイオキシン類	pg/L	pg/L	pg/L	pg/L
摘要		水質については、生活排水による汚濁負荷量を除いた数値とする。			

備考

- この表に掲げる項目の単位は、温度、水素イオン濃度 (pH) およびダイオキシン類以外の項目については、mg/Lとする。
- 「摘要」の欄は、下水の量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

公共ますにおける事業場排水（油水分離槽排水）と生活排水（トイレ、手洗い等）を合計した下水の量となります。
 (例) 事業場排水 7.0m³ + 生活排水 1.0m³ = 8.0m³

通常の1.2倍の数値となります。
 通常 8.0m³ × 1.2 = 9.6m³

公共ます2箇所に汚水を排除する場合記入して下さい。

別紙 4

下水の量及び水質

(変更後)

排出口		No. 1		No.	
		通常	最大	通常	最大
下水の量 (m ³ /日)		(例) 8.0	(例) 9.6		
1	温度	度	度	度	度
2	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				
3	水素イオン濃度 (pH)	水素指数 7.0	水素指数 8.0	水素指数	水素指数
4	生物化学的酸素要求量(BOD)	200	240		
5	浮遊物質 (SS)	200	240		
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量				
	(1) 鉱油類含有量 (2) 動植物油脂類含有量	20	24		
7	窒素含有量				
8	燐含有量				
9	沃素消費量				
10	カドミウム及びその化合物				
11	シアン化合物				
12	有機燐化合物				
13	鉛及びその化合物				
14	六価クロム化合物				
15	砒素及びその化合物				
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
17	アルキル水銀化合物				
18	ポリ塩化ビフェニル				
19	トリクロロエチレン				
20	テトラクロロエチレン				
21	ジクロロメタン				
22	四塩化炭素				
23	1, 2-ジクロロエタン				
24	1, 1-ジクロロエチレン				
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン				
26	1, 1, 1-トリクロロエタン				
27	1, 1, 2-トリクロロエタン				
28	1, 3-ジクロロプロペン				
29	チウラム				
30	シマジン				
31	チオベンカルブ				
32	ベンゼン				
33	セレン及びその化合物				
34	ほう素及びその化合物				
35	ふっ素及びその化合物				
36	1, 4-ジオキサン				
37	フェノール類				
38	銅及びその化合物				
39	亜鉛及びその化合物				
40	鉄及びその化合物(溶解性)				
41	マンガン及びその化合物(溶解性)				
42	クロム及びその化合物				
43	ダイオキシン類	pg/L	pg/L	pg/L	pg/L
摘要		水質については、生活排水による汚濁負荷量を除いた数値とする。			

備考

- この表に掲げる項目の単位は、温度、水素イオン濃度 (pH) およびダイオキシン類以外の項目については、mg/Lとする。
- 「摘要」の欄は、下水の量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

別紙 5

事業場全体から公共ます 1 箇所に汚水を排除する
 場合です。

別紙 4 「下水の量」と同じ数値となります。

用水及び排水の系統

(変更前)

1	用水及び排水の系統図	別紙図面のおり							
	排出口	用 水							
		水道水 (m ³ /日)		地下水 (m ³ /日)		その他() (m ³ /日)		合 計 (m ³ /日)	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
2	No. 1	(例) 6.0	(例) 7.2					(例) 6.0	(例) 7.2
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	合 計	(例) 6.0	(例) 7.2					(例) 6.0	(例) 7.2

別紙 5

事業場全体から公共ます 1 箇所に汚水を排除する
 場合です。

別紙 4 「下水の量」と同じ数値となります。

用水及び排水の系統

(変更後)

1	用水及び排水の系統図	別紙図面のとおりに							
	排出口	用 水							
		水道水 (m ³ /日)		地下水 (m ³ /日)		その他() (m ³ /日)		合 計 (m ³ /日)	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
2	No. 1	(例) 8.0	(例) 9.6					(例) 8.0	(例) 9.6
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	合 計	(例) 8.0	(例) 9.6					(例) 8.0	(例) 9.6